

# 支部だより

令和6年1月  
第98号

## より良き社会のため、こだわって いきましょう

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は阪神タイガースが「アレ」で盛り上がり、アレヨアレヨという間に日本一に駆け上がってしまいました。アメリカでは大谷翔平が二刀流で大活躍。ホームラン王、満票での MVP 獲得、そして来季の優勝を希求してのドジャーズ移籍も決まりました。

他方、コロナ禍の鎮静化を待っていたかのように世界では自然災害や異常気象、紛争が頻発しました。ますます不安定化する地球環境と世界情勢を落ち着かせるために、私たちは何をすればよいのでしょうか。実はもうわかっているはず。いま、その行動が私たち一人ひとりに求められています。

ドジャーズ移籍判断の決め手は勝つことにこだわったからだとか。チーム全員が優勝を目指して一団となって努力する。その欠かせないメンバーとして自分が貢献したい。こだわりは何かを成す人生の矜持といえます、要はこだわりの先に何を求めているかだと思います。

私たちは微力ですが、よりよい社会を実現するため、志を高く持ち、風雲、嵐を糧にして、力強く天に向かって昇ってゆきましょう。

皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありますよう心から祈念いたします。

(加古川支部 支部長 小西 敏文)

## 「新年会&新春ボーリング大会」の お知らせ

毎年恒例の『新年会・ボーリング大会』を2月3日(土)に執り行います。

支部会員の交流と親睦を深める行事であります。

新しい年を迎え気持ち新たに加古川支部創立60周年に向け一致団結をしたいと思います。

ここ数年で新入会員も増え、より一層加古川支部を盛り上げたいと思います。

皆様方におかれましては、お忙しい事と存じますが、ボーリング大会・新年会共に豪華景品を取り揃えますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

奮ってご参加くださいますようご案内します。  
(厚生委員会)

日時：令和6年2月3日(土)

○ボーリング大会

17:00より 受付

17:30 ゲーム開始

参加費：新春ボーリング大会 1,500円

会場：「ニッケパークボウル」  
加古川市加古川町寺家町 269-1  
Tel (079) 427-8900

○新年会

19:30 新年会開宴

宴会余興 ビンゴゲーム

豪華景品多数

参加費：新年会 5,500円

会場：肉バルコツチ  
加古川町篠原町 68-3 玉ビル2階  
Tel 050-5449-7300

右記QRコードから  
も場所の確認ができ  
ます



申込み期限 令和6年1月25日(金)

申込み方法 4面よりお申込みください。

当日連絡先 竹下 孝行 090-7113-1380

永田 康貴 080-3764-4179

## 滋賀見学会参加報告

11月11日(土)に滋賀(ミホミュージアム、石山寺)見学会に11名で行ってきました。

加古川駅 7:04 発の新快速に乗車して石山駅まで1時間40分、路線バスに乗り換え50分。すれ違うのも大変そうな曲がりくねった山道をグイグイ登り、終点のミホミュージアムにやっと到着。早朝から2時間30分の移動、仕事の疲れも重なったのか、メンバーの一人はバスに酔ったとしゃがんでしまいました。私もこの時期としては早すぎる集合時間に寝過ぎてはとの心配から熟睡できないまま起き出したので、頭の中は仮眠明け状態でした。

いざ桃源郷へ、下界の喧騒を仕切るトンネルを抜け、吊り橋を渡って、正面の階段を登ります。その先の玄関棟は草むき古民家を模した鉄とガラ

スの近代建築です。内部の床と壁は上質の大理石で仕上げられ、どこまでも穏やかで明るい空間です。全体から細部までギリシャ彫刻のような自然で均整の取れた美しさを感じました。大屋根天窓の菱形ルーバーは絶妙な間隔で配置され、木肌の温もりが全体を包んでいます。開館（1997年）から20数年も経つのに少しも古さを感じません。優れたデザインは時間を超越するということでしょうか。

展示物の古代エジプト、メソポタミア文明の彫像やレリーフ、貴金属細工の副葬装飾品を間近に見ていると数千年の時間が迫ってくるようです。美術館に入るといつも時間配分で後悔します。中華料理の前菜に手を出し過ぎ、その後のメインを残す。わかっているのに、いつもそうしてしまいます。今回も予定の時間が迫りやむなく集合場所に。

石山寺では境内入口の東大門の前で集合写真を撮り、両脇の仁王像に睨まれながら境内へ入りました。参道を抜けて階段を上った先、見上げると正面の大きな岩山の上に初層が方形、その上に円形の上層が乗る多宝塔が見えます。軒が深く、とても優美で美しい建物でした。軒裏の化粧垂木（二段に伸びた垂木）は仏様が腕を伸ばして下から軒をささえているようです。

特別展の紫式部展では源氏物語の宇治十帖の美しい源氏絵を鑑賞しました。大河ドラマが始まれば、きっと多くの参拝者が訪れ、ゆっくり見れなくなるのではないのでしょうか。

良い機会に、この見学会を企画していただいた研修委員会の皆様に感謝申し上げます。

（支部長 小西 敏文）



## 楽市と加古川支部忘年会に参加して

12/2(土)に初めて加古川支部青年部主催の忘年会に参加させていただきました。小西支部長をはじめ20名ほどが参加する非常に賑わいのある楽しい忘年会でしたが、何より若い方々の参加が多く、聞けば参加者の子供さんやその友人も来ているとのことで大変驚きました。

また、その前週11/26(日)には日岡山公園で開催の楽市に青年部が出店しているとのことで、お邪魔させていただきましたが、非常に繁盛している様子で、たくさんの小さな子供さんが一生懸命に水風船を吊り上げる様子を写真に撮りたかったのですが、それを見守る大人ばかりの写真になってしまったことが大変印象的でした。

今回、加古川支部の活動に初めて参加し、若い方々の姿が絶えないのはその活動が地域に根付いたものであり、地域貢献に繋がっているからだ実感いたしました。

今後の加古川支部の活躍に期待すると同時に、私の所属する神戸支部や本部青年委員会の活動においても大変参考になる良い機会となりました。ありがとうございました！

（県建築士会青年委員会 委員長 高麗 憲志）

## 楽市に参加して

11/25(土)、11/26(日)と2日間にわたり、第20回加古川楽市に青年部が出店されているブースに友人と共に参加させていただきました。

私は建築関係の職種ではありませんが、父からのご縁と青年部の皆様のご好意もあり、今年も参加出来ていることを嬉しく思います。

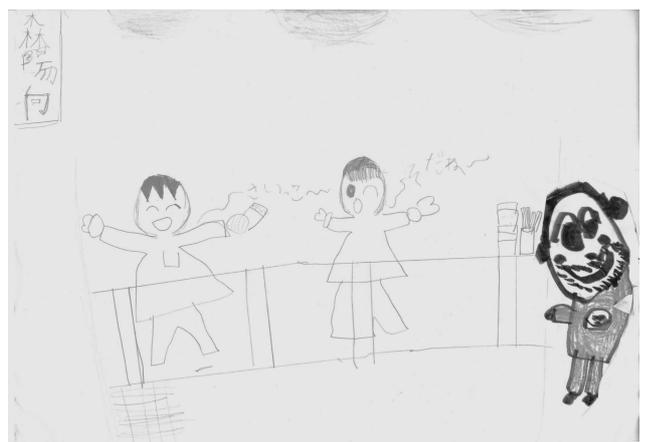
イベントでは金魚すくいやヨーヨー釣りをしており、「楽しかった」や「いい思い出になった」とお客様の楽しそうな雰囲気、私まで嬉しくなりました。また、お手伝いさせて頂いた私にとっても、またとない貴重な経験となりました。

またこういった機会がありましたらぜひ参加させて顶きたいです。

（竹下 もえ）

## ええはなしゃん 第77回

しもせびじゅつかんで色んなものをみれました。みんなでたべたラーメンもとてもおいしかったです。みんなでりょこうにいけてとても楽しかったです。また行きたいです。 もり ひなた



## 「こどもまんなか社会」の実現に向けて

～「困ったちゃん」にも理由がある～

最近いろんな「困ったちゃん」の事例が聞かれます。

噛みつく子、引っ掻く子、手を出す子、座ってくれない子、食べない子、いろんな「困ったちゃん」がいるようです。

でも行動には必ず理由があります。保育士さんはプロですから、きっと「単に怒って終わり」と考えてはいないはずです。

2歳児担任のある先生が「大変な子どもたち」の報告をしてくださいました。

一人目は、すぐに手が出るY君です。でも手を出す理由が先生にもなかなか分かりませんでした。

ある時、先生は気付きます。

「もしかするとY君との信頼関係ができていないからかもしれない。Y君は恐竜が好きだけど、今まで恐竜のことを私に話してくれたことがない。まずそこからやってみよう」

そこで先生は、恐竜の絵本をY君に読んであげました。

そのうちY君は自分で恐竜の絵本を持ってきて、先生の膝に座って話しかけてくれるようになりました。Y君は、それから変わり始めました。

次に、走り回ったり落ち着きがなかったりするI君です。

先生はI君に好きな電車のおもちゃを出してあげました。

I君はそのおもちゃで遊び始めました。それを見て先生は思いました。

「今度のお散歩の時、ちょっと遠回りして踏切の近くまで連れて行ってあげよう」

翌日、踏切に行くと、みんなが「I君、電車だよ」と声をかけてくれてI君は大喜びでした。

そこからI君も変わっていきました。

次に、毎朝グズりながら登園するS君です。

S君は毎朝家からミニカーを握りしめて園にやってくるのですが、お母さんが園の前でミニカーを取り上げます。だからS君はいつも泣きながら登園するのです。

園には「おもちゃを持って来てはいけない」というルールがあります。だからお母さんは取り上げるのです。

先生は、同僚の先生に話しました。

「S君のミニカー、園に持って来ちゃ本当にダメなのかな」

同僚の先生は、「やってみようか」と言いました。

そして、ミニカーを取り上げないようお母さんをお願いすると、次の日からS君はすんなり登園できるようになりました。

園にやってきたS君に先生が、「なくすと困るから、ミニカーは先生が預かるね」と言うと、す

ぐに渡してくれました。

S君はそこから変わりました。ミニカーを握りしめての登園はその後何日かでなくなりました。

S君を見て「自分もおもちゃを持っていく」と言う子も出なかったそうです。

それを見ながら先生たちは思いました。

「大人のルールが優先していることって多いのかもしれない」

次は、虫好きのA君です。A君は自分の気持ちを表現することが苦手でした。

先生は、A君の虫取りやセミの抜け殻集めに丁寧に付き合ったり、『だっぴ』という絵本を見せたりしました。

その様子を見て5歳児のお兄ちゃんがA君に声をかけるようになりました。そして死んだアブラゼミを持ってきました。

A君はうれしそうでした。「セミの羽を広げたら、ここにも羽がある」「羽の模様ってこうなってるんだ」と観察しました。

A君は、どんどんいきいきした表情になっていきました。

先生はある時、公園の奥にある草むらにみんなで虫取りに行きました。

A君は誰よりも早くカマキリとその抜け殻を発見しました。みんな「すごい」と称賛し、A君はとても喜んで園にカマキリを持って帰りました。

年長さんがカマキリを見に来て、「土を入れなきゃ駄目だよ」「葉っぱも入れたほうがいい」と言いました。

ほかの子たちも「ボクも行きたい」と言い始め、その園では虫取りブームが起きました。

今登場した4人とも、本当に個性的なお子さんです。でも先生たちが、「私との信頼関係が原因かもしれない。この子との信頼関係を作っていこう」と見方を変えたことでいろんな変化が起きました。

私もかつて幼稚園で担任をしたことがあるので分かりますが、対応を変えるって簡単ではありません。

でもそこが、私たちプロの保育士の「腕の見せどころ」でもあります。

先生が見方を変えると、「困ったちゃん」たちはだんだん「素敵なお子」に変わったそうです。

先生への信頼関係が育ち、安心感が生まれ、心の安全基地ができたから、そんな変化が生まれたのだと思います。

そして子どもたちは、良さを発揮していききました。保育の根本は理解から始まるのです。

皆さんは、保育のお仕事が楽しいでしょうか。子どもが成長する姿を見守ることですから、きっと楽しいはずですよ。

子どもがワクワクし、保育者がワクワクすると、保育が楽しくなります。

さらに保護者もワクワクして、地域も巻き込ん

でワクワクできるサイクルにしていきたいと思うのです。

それが国の「こども家庭庁」が目指す「こどもまんなか社会」の実現なのだと思います。

玉川大学教育学部教授 大豆生田啓友氏  
(小学館『新 幼児と保育』編集部が東京都で開催した講演会 日本講演新聞 12/11 号抜粋)

## 支部総会・60周年記念式典・記念事業のお知らせ

開催日時 令和6年4月27日(土)  
12:30~19:00  
会場 加古川商工会議所4階  
懇親会場 加古川プラザホテル2階  
鹿児の間(高砂・尾上)

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

元旦から、地震に飛行機の炎上、他にも大きな火災と大変なことが起こっています。お正月多くの方が集まって、楽しく過ごしていたのに…。

一日一日を大事にしていかなければと今更ながら感じています。

さて、今年も新春ボーリング大会と新年会のお

知らせができ、参加が楽しみです。

見学会の報告を支部長が書いてくださった以外、兵庫県建築士会青年委員会委員長 高麗憲志氏、竹下委員長の娘様、森さんのお子様にご原稿をいただき、紙面を盛り上げていただきました。

ええはなしやんのもりひなたちゃんは絵日記をそのまま載せさせていただきます。

ありがとうございます！

支部総会と支部創立60周年記念式典並びに記念事業を令和6年4月27日に開催します。

皆様の参加が成功の第一歩です。スケジュールに記載し、万障繰り合わせの上ご参加ください。

「こどもまんなか社会」の実現に向けて～「困ったちゃん」にも理由がある～は如何だったでしょうか。

私たちの周りにも「困ったちゃん」がいるのではと思います。

でも、『先生が見方を変えると、「困ったちゃん」たちはだんだん「素敵な子」に変わったそうです』とあるように、私たちも見方を変えると「困ったちゃん」と思っていた人が「素敵な人」に変わるように思います。

「皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありますよう心から祈念いたします」という支部長の挨拶をもう一度引用し、年の初めから考えさせられる事象が起こっていますが、私たち建築士ができることを改めて考える年にしていくことができたなら、佳き年と言えるのではないのでしょうか。

(広報委員会 委員長 高橋 賢吉)

## 連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせください。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加 参加される場合は○印を	参加者氏名	緊急連絡先
新春 ボーリング大会		氏名	電話
新年会			
連絡表			

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局/吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 小西 敏文 直通 TEL: 090-7889-2626

E-mail: kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

